

1. 事業ID：2009764013
2. 事業名：海あそび安全講習会
3. 団体ID：412032
4. 団体名：（特）海に学ぶ体験活動協議会

助成事業完了報告書

平成 23 年 4 月

NPO 法人 海に学ぶ体験活動協議会

目 次

1. 事業概要	1
1.1 事業名	1
1.2 団体名	1
1.3 期間	1
1.4 助成金額	1
2. 目的	1
3. 目標	1
4. 事業内容	2
4.1 事業内容	2
4.2 事業の実施状況	2
1)安全小冊子の印刷	2
2)小冊子の配布	3
3)安全講習会の開催	7
(1)指導者養成講座(神奈川)	8
(2)安全講習会(千葉県)	13
(3)安全講習会(鹿児島県)	15
(4)安全講習会(沖縄県)	19
(5)安全講習会(岡山県)	21
(6)安全講習会(京都府)	24
(7)安全講習会(大阪府)	27
(8)安全講習会(福岡県)	31
5. 事業成果	33
5.1 事業成果	33

【資料編】

- ・安全講座小冊子・利用アンケート依頼例
- ・安全講座小冊子・利用アンケート回答結果一覧
- ・安全講座小冊子・利用アンケート

【別添資料】

- ・小冊子「海あそび安全講座」(16頁版)
- ・小冊子「親子海遊び安全講座」(24頁版)
- ・海あそび安全講座運営マニュアル

1 . 事業概要

1.1 事業名

海あそび安全講習会

1.2 団体名

NPO 法人 海に学ぶ体験活動協議会

1.3 期 間

2010年4月1日～2011年3月31日

1.4 助成金額

3,200,000円

2 . 目的

初夏から秋にかけて盛んに行われる海の体験活動において、参加者の安全確保は必須の課題である。海の体験活動を安全に楽しく実施するための、基本的な準備事項、危険な行動の回避方法などについて、海に学ぶ体験活動協議会(以下、略称：CNAC)会員や教育関係者などを通じて広く教育・啓発する。

3 . 目標

海の体験活動に参加し、海に直に接して、様々なことを身をもって感じ学ぶことは、海の大切さを学ぶと同時に、子供たちの健全な成長を促すことになる。CNACでは同活動の普及・活性化に努めている。一方、海の活動には常に事故や災害の危険が伴うため、活動の安全を確保すること、危険な行動を回避することが、最も重要であるとする。

平成21年度の"親子海遊び安全講座"(日本財団助成事業)を行った結果、各地方の指導者の不足や水際でのレスキューをテーマにした活動が少ないことが分かった。また、安全小冊子の活用団体にアンケートを行った結果、小冊子の配布が海辺における危険予知に有効であるとの意見を多数得た。また一部で内容更新の要望があったため、平成22年度事業に反映させる。

本年度は前年に継続して、小冊子の配布と安全講座を実施し、海の体験活動を安全に楽しく行うための基本的な準備事項、危険な行動の回避方法などについて、教育関係者および子供たちを対象に教育・啓発する他、海の活動における指導者の育成も目的とする。

また、海あそび安全講座の実施にあたり、講座の準備事項、基本となる危険予知活動を記載し

た「海あそび安全講座・運営マニュアル」を作成し、指導者の講習プログラムの基礎資料とする。

4 . 事業内容

4.1 事業内容

海辺の活動の安全性を高める講習会を全国に展開するため、以下の事業を実施する。

1)安全小冊子の印刷・配布

- ・子供向け「海あそび安全講座」 10,000部を印刷・配布する

(安全講座等の開催団体へ7,000部を配布、小冊子の配布が有効に行われている団体に3,000部の配布を想定する)

- ・指導者向け「親子海遊び安全講座」 3,000部を印刷・関係団体に配布する。

2)安全講習会の開催

- ・安全講習会に先立ち、「指導者向け講習会(1箇所)」を開催し、指導者の統一的な指導法策定を行う。

- ・開催要望に基づく全国7箇所で「安全講習会」開催し、安全について教育・啓発する。

3)海あそび安全講座・運営マニュアルの作成

- ・安全講座指導者向けの内容とし、指導者向け講習及び団体の地元自主開催時の指針として活用されることを目的として作成する。

4.2 事業の実施状況

1)安全小冊子の印刷

(1)小冊子「海あそび安全講座」(16頁版)・印刷部数：10,000部



【小冊子の概要】

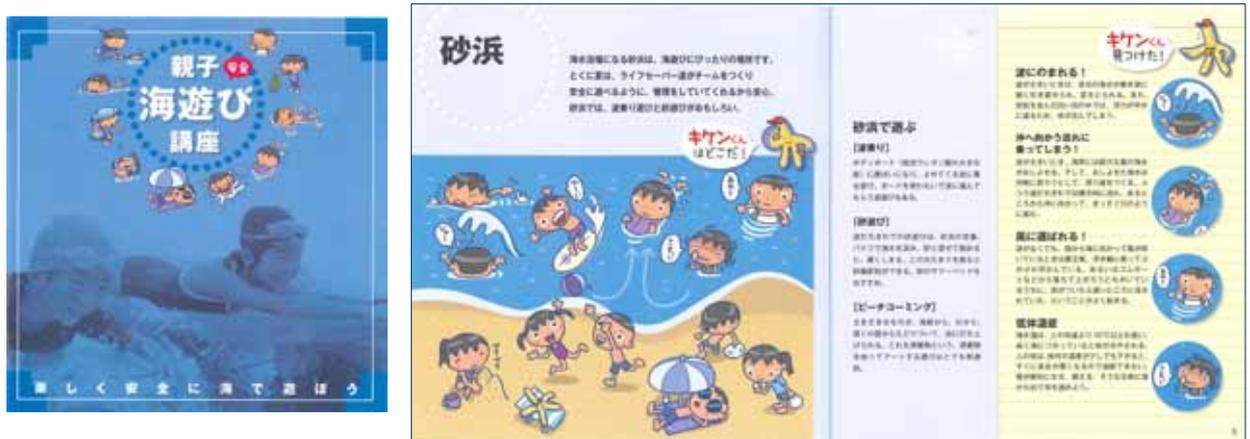
「危ないことを上手に避け、海辺で楽しく遊ぶための方法」についてイラストを用いて分か

りやすく解説した小冊子。

砂浜、岩場、港、サンゴ礁海岸で遊ぶ際の「キケンな場所」、「注意事項」を記載してある他、「もしも溺れた時のセルフディフェンス」、「誰にでもできるレスキュー」、「気をつけたい海辺の生き物たち」について解説してある。

その他、昨年度のアンケートから、「子どもに読みやすいように漢字に「ルビ」があると良い」との意見を反映し、全ての漢字にルビを振った。

(2) 小冊子「親子海遊び安全講座」(24 頁版)印刷部数：3,000 部



【小冊子の概要】

16 頁の小冊子の内容を基本に、指導者向けに作成した 24 頁版の小冊子。こどもたちに「危ないことを上手に避け、海辺で楽しく遊ぶための方法」を説明する際の留意点・指導のポイント等、海あそびのリスクマネジメントが補足してある。

2) 小冊子の配布

(1) 配布対象

小冊子配布は、主に下記を対象とした。

- ・安全講習会の参加者
- ・配布が有効に行われると考えられる団体（前年度の配布実績を考慮）
- ・海に関するシンポジウムの参加者

(2) 配布状況

安全講習会の参加者には事前もしくは当日に小冊子を配布し、安全講習会時のテキストとして活用を図った。

また、CNAC のホームページ、メールマガジン等で小冊子配布について案内し、配布の要望のあった団体・個人に配布した（配布先は次頁に示す）。

配布者にはアンケートを行い、小冊子の活用(配布)状況及び小冊子に対する要望等をフィードバックした(アンケートは巻末に添付する)。

その他、海の体験活動を安全に楽しく実施するための、基本的な準備事項・危険な行動の回避方法などについて教育・啓発することを目的として、海に関するシンポジウムの開催時に小冊子を会場ロビー等に陳列し、興味を持った参加者に自由に持ち帰ってもらった。

表 4-1 平成 22 年度 安全小冊子配布先一覧(1)

No.	団体名	代表者	発送日	使用目的
1	(財)WAVE	大村哲夫	4月28日	ビーチフェスティバルで配布
2	戸塚幼稚園	中村	4月28日	葉山の磯で子供用の安全プログラム
3	NPO法人ふるさと東京を考える実行委員会	田中克哲	5月7日	イベントにて配布
4	NPO法人 たじま海の学校	松本ひろこ	5月21日	6/5(土)神戸市立谷上小学校24人 磯観察 6/16(水)丹南連合古市小学校スノーケリング50-60人 6/22(火)今田小午前磯観察、午後スノーケリング32人 6/23(水)はた小学校スノーケリング58人 6/24(木)篠山A連合小学校スノーケリング60人
5	神奈川県立三浦ふれあいの村	工藤	4月23日	来場者、関係者配布
6	CNAC事務局	中島	6月5日	CNAC指導者講習・神奈川県
7	日本空手協会横浜支部	山本	6月16日	合宿
8	日本国際オープンウォータースイミング協会	野尻奈央子	6月21日	イベントにて配布
9	千葉自然学校 大房岬少年自然の家	畑野佳昭	6月22日	CNAC安全講座・千葉県
10	WAVE職員	菅家 英朗	6月25日	横浜市小学校イベントにて配布
11	NPO法人ふるさと東京を考える実行委員会	田中克哲	6月25日	イベントにて配布
12	山上 文恵	山上文恵	7月7日	呉市立両城小学校の着衣泳講習会
13	湘南自然学校	斎藤泰幸	7月7日	スノーケリングリーダー研修
14	NPO日本安全潜水教育協会	早川弘子	7月7日	着衣泳講習会
15	NPO法人シーボウル海の教室	中村智子	7月30日	ビーチコーミング・環境教育・貝殻クラフト教室
16	JQUE	勝田麻吏江	7月1日	安全啓発
17	鹿屋海洋球「ツツブ」・鹿屋体育大学	海野義明	7月7日	CNAC安全講座・鹿児島
18	ボランティアサークル亀の子隊	鈴木吉春	7月12日	環境講習会で配布
19	NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター	海野義明	7月13日	親子海辺の安全講習
20	NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター	海野佳子	7月13日	ジュニアライフセービング教室
21	NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター	佐伯久徳	7月21日	親子イベント(NTT神奈川労組)
22	NPO法人玄海ライフセービングクラブ	佐藤茂夫	7月14日	福岡県地域振興課と共同で海辺の自然学校を実施 (50名)玄海独自に海辺の自然学校4コース定員40名
23	NPO法人 極楽島海人	佐藤一進	7月16日	藻場再生研究クラブ・スノーケリング教室
24	海藻おしば協会	野田三千代	7月14日	安全啓発・茨城県自然博物館
25	海藻おしば協会	野田三千代	7月14日	安全啓発・筑波大学マリンスポーツ講座、岩手県山田町鯨館、 沼津市御用邸、筑波大公開講座
26	海藻おしば協会	高山優美	7月16日	安全啓発・大磯自然博物館
27	NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター	海野義明	7月21日	海辺の安全講習/指導者講習
28	マリンオフィス ムーンベイ	小池潔	7月23日	スノーケリング教室で配布・亀の子隊(渥美半島)
29	マリンオフィス ムーンベイ	小池潔	7月23日	スノーケリング教室で配布・B&G江の島海洋クラブ
30	海藻おしば協会	野田三千代	8月11日	安全啓発・スルガ銀行 d-l a b o
31	海藻おしば協会	野田三千代	7月23日	安全啓発・日本郵船歴史博物館
32	海藻おしば協会	野田三千代	8月4日	安全啓発・横浜ベイサイドマリナー
33	海藻おしば協会	野田三千代	7月26日	安全啓発・戸塚区子ども連絡協議会
34	海藻おしば協会	涌田登美枝	7月26日	安全啓発・富士市児童クラブ
35	海藻おしば協会	河原美也子	7月26日	安全啓発・大阪府大東市小学校教員
36	海藻おしば協会	橋本美穂	7月26日	安全啓発・台東区環境課
37	海藻おしば協会	野田三千代	7月21日	安全啓発・伊豆東急ホテル
38	海藻おしば協会	高山、北水	7月22日	安全啓発・大磯町郷土資料館
39	NPO法人セイラピリティ江の島	松本富士也	7月23日	安全啓発・江の島ヨットクラブ
40	野外教育事業所 ワンバク大学	三好利和	7月23日	安全啓発・野外教育事業所 ワンバク大学
41	自然探求ネットワーク沖縄	照屋隆治	7月28日	CNAC安全講座・沖縄県
42	株式会社 環境計画研究所	日向若菜	7月30日	海の安全講習・株式会社 環境計画研究所
43	ほっかいどう海の学校	大塚英治	7月30日	全生徒対象日本財団助成教育・積丹市内小学校
44	日本ライフセービング協会沖縄支部	桃原正樹	8月2日	子供達へのライフセービング教室・日本ライフセービング協会沖縄支部・ UNAジュニアライフセービングクラブ
45	NPO法人CDMジャパン	海野義明	-	CNAC安全講座・岡山県岡山市
46	三豊市 農業振興課	菅野尊之	8月4日	CNAC紹介用サンプル・三豊市 農業振興課
47	JCI柏崎青年会議所	布施和則	8月16日	自然体験イベント・親子50組(1泊2日)
48	JOY・F、琴引浜のなき砂を守る会	松尾	8月20日	CNAC安全講座・京都府琴引浜

表 4-1 平成 22 年度 安全小冊子配布先一覧(2)

No.	団体名	代表者	発送日	使用目的
49	新潟のビーチイベント	桑山	8月17日	安全講座
50	株式会社 協栄	市川圭一朗	9月13日	着衣泳体験・町田市立室内プール秋祭り参加者
51	NPO法人あきた海辺の自然学校	打矢繁美	8月25日	第10回 海辺の環境教育フォーラムinあきた白神にて配布
52	小川原湖自然楽校	相馬孝	8月25日	生物の観察・NPO法人 ACTY
53	佐世保海洋少年団	松本治起	9月13日	安全教室・海洋少年団・ボーイスカウト・ガールスカウト
54	日本海洋少年団九州北部地区連盟・指導者連絡協議会	片淵耕二	9月15日	海洋少年団 Jr.リーダー研修会
55	千葉自然学校 大房岬少年自然の家	神保清司	8月27日	施設内常設、近隣関係者への紹介・大房岬少年自然の家
56	海辺づくり研究会	菅家英明	8月30日	指導者講習会・金沢八景・東京湾アマモ場再生会議、海辺づくり研究会
57	砺波広域圏消防本部	松井聡之	9月1日	着衣泳指導に伴う資料・南砺市立福光東部小学校
58	お台場ビーチバレー大会	加藤章彦	9月3日	お台場ビーチバレー大会で配布
59	財団法人wave	中島正雄	9月22日	ハゼ釣り調査業務
60	NPO法人瀬戸内里海振興会	田坂勝	9月13日	海辺の学習講座
61	千葉自然学校 大房岬少年自然の家	神保清司	9月15日	施設内常設、近隣関係者への紹介・大房岬少年自然の家
62	三河湾環境チャレンジ実行委員会	小山道徳	9月17日	磯の生き物観察会
63	湘南海上保安署	佐々木将	9月22日	海浜パトロール実施時等に配布、安全啓発活動・湘南海上保安署
64	(社)大阪自然環境保全協会	古瀬浩史	9月22日	CNAC安全講座・大阪府
65	豊後高田市消防本部	徳永龍貴	9月29日	着衣泳講習会・小学校等
66	国立若狭湾青少年自然の家	渡邊重則	10月16日	サンプル送付・独)国立青少年教育振興機構 国立若狭湾青少年自然の家
67	NPO法人西日本環境ネットワーク	文川	10月27日	CNAC安全講座・福岡
68	国立若狭湾青少年自然の家	渡邊重則	11月22日	安全研修・独)国立青少年教育振興機構 国立若狭湾青少年自然の家
69	国立室戸青少年自然の家	窪田伸介	11月22日	安全研修・独)国立青少年教育振興機構 国立室戸青少年自然の家
70	CNAC	中島正雄	1月29日	CNAC全国フォーラム
71	(山口県長門市青年の家管理関係者)	中川 薫	2月18日	安全管理のための情報収集・山口県長門市青年の家関連団体
72	有限会社野外教育研究所 IOE	伊志嶺朝紀	2月18日	安全教育・有限会社野外教育研究所 IOE
73	(財)WAVE	菅家英明	3月3日	市民モニタリングデモンストレーションで使用

3)安全講習会の開催

(1)安全講習会開催地一覧

全国8箇所で安全講習会（指導者養成講座を含む）を開催し、安全の教育・啓発活動を行った。開催地一覧は下表の通りであった。

表4-2 平成22年度 安全講習会開催地一覧

No.	講習区分	開催予定場所	イベント協力団体	実施内容	開催日	参加状況
1	指導者講習	神奈川県 (三浦ふれあいの村)	CNAC事務局	安全講座の指導者養成講座を実施	6月5日, 6日	講師を含む7名
2	一般講習	千葉県 (大房岬)	大房岬少年自然の家	磯の生物観察教室と併せて、親子海あそび安全講座を開催	6月26日	16名 (大人7名、小中学生8名、幼児1名)
3	一般講習	鹿児島県 (高須海水浴場)	鹿屋海洋スポーツクラブ 国立大学法人鹿屋体育大学海洋スポーツセンター	・親子海あそび安全講座を開催 ・地元新聞で紹介される	7月10日	32名 (大人15名、中学生4名、幼児13名)
4	一般講習	沖縄県中頭郡北谷町 (北谷公園プール、北谷サンセットビーチ)	自然探究ネットワーク沖縄 沖縄ライフセービング協会 ザ・ビーチタワー沖縄	屋外プールにて、親子海あそび安全講座を開催	7月31日	7/31...15名 (大人6名、小中学生7名、幼児2名) 8/1...17名 (大人9名、小中学生6名、幼児2名)
5	一般講習	岡山県笠岡市 (真鍋島土生海岸、白石島海水浴場)	NPO法人 CDMジャパン	親子海あそび安全講座を開催	7月28日, 29日	7/28...24名 (大人9名、小中学生15名) 7/29...18名 (大人8名、小中学生10名)
6	一般講習	京都府 (琴引浜)	ジョイ I7 JOY・F 共催: 琴引浜のなき砂を守る会	座学を交えて、親子海あそび安全講座を開催	8月24日	13名
7	一般講習	大阪府 (せんなん里海公園)	(社)大阪自然環境保全協会	海ほたる観察会と併せて、親子海あそび安全講座を開催	9月25日	32名 (大人13名、小中学生5名、幼児2名、共催者運営スタッフ12名)
8	一般講習	福岡県 (深江海岸)	NPO法人西日本環境ネットワーク	カヌー体験と併せて、親子海あそび安全講座を開催	10月31日	20名 (大人14名、子供6名)

(2)安全講習会の開催報告

安全講習会の募集要領・開催結果について、次頁より示す。

指導者養成講座（神奈川県）

「海遊び安全講座指導者研修」の参加者募集ご案内

CNACとして組んでまいりました「海あそび安全講座」、おかげ様を持ちまして今年で3年目を迎えることになりました。好評をいただいています安全小冊子も改定増刷し、昨年同様に、6月下旬より全国で「海あそび安全講座」実施を予定しております。

さて、これら今年度安全推進事業の開始に先立ちまして、神奈川県立三浦ふれあいの村にて、「海あそび安全講座」の実施者育成のための指導者研修を開催いたします。今回講座の目的は、日頃から安全な活動を目指し活躍されている方々に講座に参加していただき講座で扱われる講座内容、指導方法について共に検証し、より良い講座運営を研究しようというものです。どうか主旨をご理解いただきまして、ご参加のほどよろしくお願い致します。

実施要項

実施日	平成22年6月5～6日（2日間）
集合場所	神奈川県立三浦ふれあいの村 しおさい棟会合室C
集合時間	5日午後1時（解散は6日午後1時予定）
参加費	無料（食費・宿泊費・保険料）交通費は各自でお願いします。
対象者	海辺の活動で安全管理を行っている方、ライフセーバー、ダイビング指導者
持ち物	水着 ウエットスーツ・ブーツ等 ウインドブレーカー 軽い運動ができる服装、履物 上履き 宿泊に必要な洗面具（シャンプー、歯ブラシ、タオル等） 健康保険証（コピー） 常備薬

海況が平穏であれば屋外での実習を行いますが、荒天の場合は室内実習に切り替えます。
ウエットスーツ・ブーツのレンタルを希望される方は、参加申込書の必要事項にご記入をお願いします。

CNAC 事務局

NPO 法人海に学ぶ体験活動協議会（CNAC）

事務局 中島 正雄（なかしま まさお）

住所：〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-1-10 第2虎の門電気ビルディング4階
（財）港湾空間高度化環境研究センター（WAVE）内

Tel：03-5408-8299 Fax：03-5408-8747

E-mail：cnac@wave.or.jp URL：<http://www.cnac.ne.jp/>

<当日連絡>

中島：090-8010-6790 / 長谷川：090-1616-6162



日本財団 助成事業

The Nippon Foundation

「この代わりは競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します」

参加申込書

名前(フリガナ): _____ 性別: 男・女 _____

生年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日生まれ _____ 血液型: _____ 型(+)

所属団体名: _____ 年 _____ 年齢: _____ 歳 _____

住 所 _____ メール _____

電話 _____ 緊急時連絡先 _____ 電話 _____

* ウェットスーツレンタル希望の方 身長: _____ cm 体重: _____ kg 足のサイズ: _____ cm

<健康状態の確認>

1年以内に病院にかかった病気・怪我があれば記入してください。

水面での実習も予定しています。健康上の問題がある方はもらさずご記入ください。

その他、参加するにあたっての相談、質問などあればご記入願います。

<確認書>

CNAC が主催する「海遊び安全講座指導者研修」の主旨と内容を良く理解した上で参加申込をいたします。実施に際しては、主催者が用意する保険に加入します。主催者は安全には最大限の準備と努力をしていただき、万一怪我などが生じた場合は、保険の定める範囲で保証してください。主催者側の故意または明らかな過失によるものを除いては、その責任は参加者個人に帰属する事を確認しました。

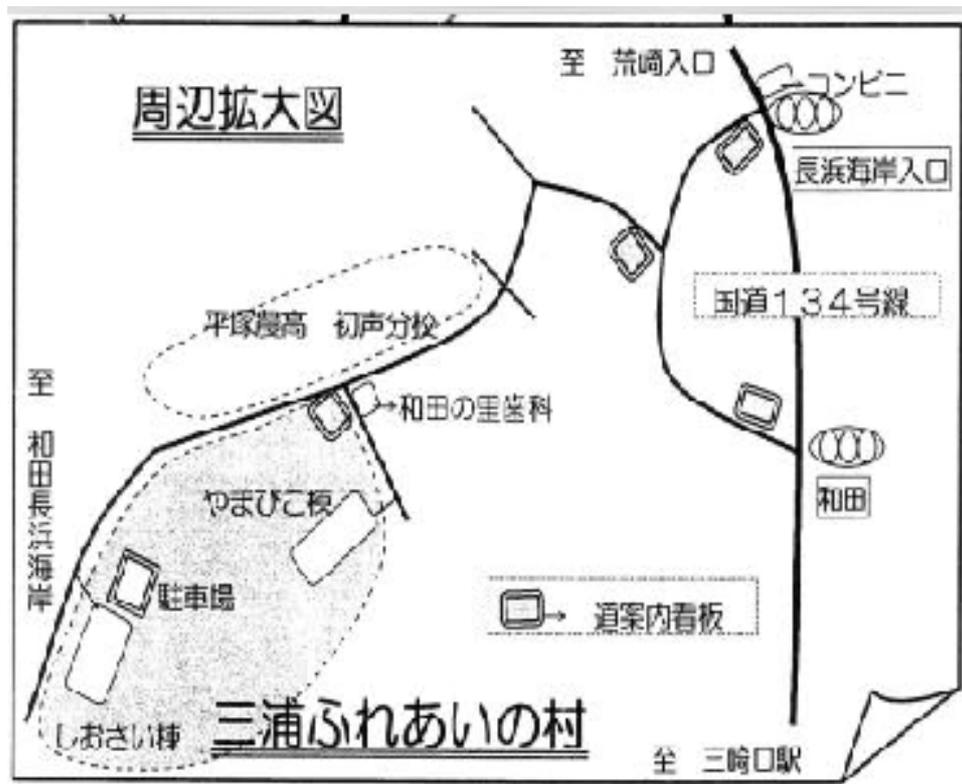
平成 22年 月 日 名前 印

個人情報、このプログラムのみ使用し、他の目的に使用されるものではありません。

「三浦ふれあいの村」までのアクセス

- 電 車 : 京急「三崎口駅」下車。3番バス乗り場より「横須賀駅」、「荒崎」、「市民病院」、「長井」行き乗車京急バス「和田」下車、徒歩15分。しおさい棟入口より入る。
- 車 : 横浜横須賀道路衣笠ICから三浦縦貫道路に入り、国道134号線「三浦縦貫道入口」信号を左折し三崎方面へ、「長浜海岸入口」信号右折、しおさい棟入口より入る。
- どちらも「三浦ふれあいの村」案内板に従ってお越してください。車の方は、事務室手続きの上、入館者専用駐車場に駐車していただきます。

神奈川県立「三浦ふれあいの村」所在地・連絡先
〒238-0114
神奈川県三浦市初声町和田 3 1 3 6
TEL (046)-888-2100 (代表)
FAX (046)-888-2152
HP <http://www.yokohamaymca.org/fureai/index.html>



H22 親子海あそび安全講座 講師研修会

時間	項目・内容	備考	担当
平成22年6月5日(土)			
10:00	集合・ミーティング	スタッフ(海野、長谷川、佐伯、中島)	
11:00	現地確認・ミーティング	スタッフ(海野、長谷川、佐伯、中島)	
13:10	開会		事務局
	代表理事挨拶		海野
	自己紹介		
13:25	研修趣旨説明		長谷川
	海あそび安全講座 カリキュラムについて		長谷川
13:30	安全講座の手順		長谷川
	・安全講座の全体像	マニュアル(案)P20下から2行目削除	
	・安全講座実技の手順		
14:00	安全講座実技指導(実習)		葉山ライフセービング クラブ:佐伯
	・着替え・移動・説明		
	・準備体操		
	・ラッコ浮き	・浮くための姿勢確認	
	・ペットボトル浮き	・ペットボトルの抱え方 ・ペットボトルを胸から腹部まで移動させ、体勢を確認する	
	・ランドセル	・ランドセルも浮く	
	・ペットボトル投げ	・釣り竿、ロープ	
	・アイスボックス		
	・移動・着替え		
16:30	ふりかえり		
	・救助の手順	・おぼれている人に返事をさせない ・マニュアルの中にフローを入れる ・助けを呼ぶか、通報が先か	
17:40	ふり返り		
	・救助の手順	・着衣泳は先に浮力を確保	
19:00	夕食・休憩		
19:40	ふり返り		
	・KYT		
	・紙芝居	話の相互通行	
	・紙芝居の使い方の紹介	班毎に討議・発表	
	・安全小冊子の使い方の紹介	班毎に討議・発表	
	・服装について	服装について、マニュアルに入れる	
21:00	1日目終了		
平成22年6月6日(日)			
8:30	安全講座パターン毎の時間配分	・海又はプール使用(実技有り) ・海又はプール使用(デモのみ) ・実技なし	時間配分表を整理し確認
	講義内容作成	・班毎に作成・発表	
12:00	終了		



親子海遊び安全講座



日時：6月26日(土)13:30～15:30※少年自然の家にて13:00受付開始

海遊びの季節！楽しく遊ぶコツを教えます。

安全な遊び方を分かりやすく教えます。

砂浜の遊び方のコツ教えます！

磯の遊び方のコツ教えます！

もしも貴方が海に落ちたら？

もしも誰かが海に落ちているのを見つけたら？

海にはこんなものを持って行こう！

***参加者には海遊びの冊子、箱メガネをプレゼント！！**

会場：大房岬自然公園 南係船場 ※雨天時大房岬少年自然の家

定員：30名 参加費：300円(保険料含む) 対象：親子、指導者

小学3年生以上なら子どもだけでも可。小学1、2年生も

3年生以上の兄弟と一緒に参加ならば可。

CNAC
海に学ぶ体験活動協議会主催

TAIBUSAMISAKI

申込み先：大房岬少年自然の家

電話：0470-33-4561 Fax：0470-33-4564

email：event@chiba-ns.net

主催：NPO 法人海に学ぶ体験活動協議会 (CNAC)共催：南房総市大房岬少年自然の家

開催年月日	6月26日	天気	晴れ
開催地	大房岬海岸・大房岬少年自然の家		
開催団体名	CNAC		
共催団体名	大房岬少年自然の家		
参加者人数	総数 16人 (内訳 大人7名 小中学生 8名 幼児 1名)		
スタッフ数	講師 2人	運営スタッフ	2人
講師名	氏名 肩書き・資格等 長谷川孝一(安全部会委員)・佐伯(ライフセーバー)		
参加者募集方法	施設のホームページにて広報した。すでに予定されていた磯の生物観察会とリンクさせて実施。		
会場	ホールでオリエンテーションを行い、栈橋で実習。		
使用教材	小冊子・パウチシート		
使用備品類	ペットボトル・PFD・ロープ・釣りざお・ビニール袋・ランドセル		
加入保険の内容	傷害保険と賠償保険		
事前の打ち合わせ会議の回数	電話にて5回。現地にて1回。		
活動状況			
実施において気づいたこと	<p>当初、午前中の磯の生物観察と午後からの安全講座は別のものとしていたが、当日の下見後の打ち合わせで、連続したものとして案内しようということになった。経験のある神保所長だから急きょより効果的な案内方法が決まったが、大概の場合はこうはいかない。ここがこの講座の工夫のしどころ。終了後のミーティングでは、施設のスタッフには好評で、今後は、体験と安全のセットでの開催を検討する。</p>		

2010 海あそび安全講座 in 鹿屋 参加者募集

NPO法人海に学ぶ体験活動協議会では、楽しく海あそびをする為の知識と技術を知っていただく為に、海あそび安全講座ハンドブックを作成し講習会を全国で行っています。今回は鹿屋市海洋スポーツクラブで安全講座を実施します。

- 主催 NPO法人海に学ぶ体験活動協議会 <http://www.cnac.ne.jp/>
協力) 鹿屋海洋スポーツクラブ 国立大学法人鹿屋体育大学海洋スポーツセンター
- 実施日 平成 22 年 7 月 10 日（土曜日）10：00～12：00
- 定員 15 名
- 対象 お子さま、大人、親子
- 会場 鹿屋海洋スポーツクラブ（高須海水浴場）
鹿児島県鹿屋市高須町 1522-1
- 内容 海あそびで気をつけること
砂浜、岩場、港、サンゴ礁
海に落ちたら
誰でもできるレスキュー
気をつけたい海の生き物



【タイムスケジュール】

- 10：00 鹿屋市海洋クラブに集合ください。
海辺の安全学習とレスキュー体験（2時間）
- 12：00 ふりかえり、終了

持ち物：水着、タオル、帽子、水筒、着替え、日焼け止め

講師：海野義明（NPO法人海に学ぶ体験活動協議会代表理事、鹿屋体育大学海洋スポーツセンター客員教授）

お申し込み 鹿屋海洋スポーツクラブ 事務局：鹿屋市寿 4 丁目 14-55

お問い合わせ TEL：090-7459-5490〔担当〕坂口陽平

FAX：0994-47-2756（鹿屋体育大学海洋スポーツセンター）



このイベントは、競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施しています

開催年月日	平成 22 年 7 月 10 日	天気	晴れ
開催地	鹿児島県鹿屋市高須町 1552-1 高須海水浴場		
開催団体名	CNAC		
共催団体名	鹿屋海洋スポーツクラブ、国立大学法人鹿屋体育大学海洋スポーツセンター		
参加者人数	総数 32 人 (内訳 大人 15 名 小中学生 4 名 幼児 13 名)		
スタッフ数	講師 2 人	運営スタッフ	3 人
講師名	氏名：海野義明 肩書き・資格等：CNAC 代表理事 氏名：永楽洋光 肩書き・資格等：海洋スポーツセンター教官		
参加者募集方法	鹿屋市内広報、高須保育園、鹿屋市小学校 PTA		
会場	鹿屋海洋スポーツクラブ(屋内)及び高須海水浴場(屋外)		
使用教材	冊子、紙芝居、ペットボトル、ロープ、ランドセル、クーラーボックス、ポリ袋		
使用備品類	テーブル・椅子		
加入保険の内容	加入した保険：傷害保険と賠償保険		
事前の打ち合わせ会議の回数	2 回		
活動状況			
実施において気づいたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の先生方、保護者、海好きの親、体育大学教員等が、安全の重要性の再認識と、子どもへの教育の必然性をよく理解でき、勉強になったと感想をいただく。 ・ 子どもは、海に興味のある子、日頃から保育園活動として海浜教室を体験している子どもたちだったので、驚くほど積極的に体験していた。 		

総合 | 地域

身近なニュース、催し物は下記の総局支局にお知らせください

- 鹿屋 42-2188
0994 ☎ 42-5516
- 南大隅 24-2094
0994 ☎ 24-2403
- 曾於 482-0031
099 ☎ 482-3895
- 志布志 472-0061
099 ☎ 472-0806
- 都城 22-0033
0986 ☎ 22-7245
- 霧島 46-0156
0995 ☎ 46-2512
- 始良 62-2504
0995 ☎ 63-2905
- 伊佐 22-0142
0995 ☎ 22-9554
- 薩摩川内 23-2009
0996 ☎ 25-0778
- 阿久根 72-0126
0996 ☎ 73-3805
- さつま 53-0025
0996 ☎ 53-3374
- 出水 62-0057
0996 ☎ 63-2852
- 日置 273-2610
099 ☎ 273-1187
- 奄美 52-0432
0997 ☎ 52-2947
- 徳之島 83-1260
0997 ☎ 83-1263
- 種子島 22-0373
0997 ☎ 23-3275
- 屋久島 46-4077
0997 ☎ 46-4078
- 枕崎 72-0245
0993 ☎ 73-1930
- 南さつま 52-2055
0993 ☎ 52-7712
- 指宿 22-3050
0993 ☎ 24-4463
- 宮崎 24-2421
0985 ☎ 26-6913

地元肉で4階級制覇狙う

都城のボクサーが口蹄疫支援の寄付



寄付金を長峯誠都城市長に託し、タイトル戦の抱負を話す湯場忠志さん＝都城市役所

プロボクサーとして史上初の日本王座4階級制覇を目指す、都城市高木町の湯場忠志さん(33)が13日、「口蹄疫で被害にあった人を応援したい」と、ファンと自らの寄付金を都城市の長峯誠市長に託

した。9月にタイトル戦を控える湯場さんは「地元産の肉を食べて練習に励み、都城が元気になるよう頑張りたい」と意欲を見せた。湯場さんは都城レオスポーツ(都城市)を拠点に、これまでライト

級スーパーライト級、ウエルター級の日本王座3階級を制した。だが2008年4月にウエルター級王座から転落。9月4日に後楽園ホール(東京)で、日本スーパーウエルター級タイトルに挑む。

自身のブログに、宮崎県が口蹄疫に苦しんでいることを記したところ、6月下旬、ファンが「農家のために使った」と、現金数万円が詰まった瓶を、通っている東京のジムに届

けてくれたそうだ。湯場さんによると、肉は食べた満足感があり、減量に向いているという。「肉を食べて調整し、これまでの悔しさをすべてを出し試合に臨みたいと話した。



同法人の海野義明代表が「海野義明さんの指導でペットボトルの浮力を確かめる園児―鹿屋市の高須海水浴場

おぼれた人の救助方法学ぶ 鹿屋

安全に海で遊んでもらおうと、鹿屋市の高須海水浴場で10日、NPO法人「海に学ぶ体験活動協議会」(東京)の講座があった。近くの保育園児ら約40人が参加し、おぼれた人の救助方法などを学んだ。

同法人の海野義明代表が「海野義明さんの指導でペットボトルの浮力を確かめる園児―鹿屋市の高須海水浴場

から「このままでは航路存続も危うくなる」との声も聞かれる。このため、旧東町と旧長島町が合併した今、長島町内にとどまらず、隣



獅子島では海上交

船関係者たちがなく、船舶業者らは口をそろえる。「長島という小さな村にとられず、行政区を越えた交流を本格化させる時期にきている」

おぼれた人の救助方法学ぶ 鹿屋

安全に海で遊んでもらおうと、鹿屋市の高須海水浴場で10日、NPO法人「海に学ぶ体験活動協議会」(東京)の講座があった。近くの保育園児ら約40人が参加し、おぼれた人の救助方法などを学んだ。

表理事(54)が4月に鹿屋体育大学海洋スポーツセンター客員教授になったことから、県内で初めて実施した。参加者は海の危険箇所などの説明を聞いた後、おぼれた人にペットボトルを投げる練習をし、海に入ってからペットボトルが浮輪代わりになることを確かめた。家族3人で参加した同市寿北小学校2年の三森杏さん(7)は「ペットボトルだけで人が浮くのびびりした。万のときは人を助けられるようにした

枕崎支局・西青木亨

記者の目

白色と赤いし形と力強い「節」の文字をたろこマーク物の外壁に大枕崎市内のかが増えてきた。2年前、枕業協同組合がに考案。今年の品質基準をかつお節を「として特許庁商標に登録し、一クとして探商標などなは全国に知れなだけでは、と、長く続くし、価格競争、大けで品質には立つよつにないう。一方のい上に質の高る時代。地域

い。海野さんは「おぼれた人には浮く物を投げてあげることが大切。慌てず行動してほしい」と呼びかけた。

ペットボトル有効活用

安全な海遊び学ぶ

本格的な夏の訪れを前にして、海難事故防止を目的とした「2010海あそび安全講座 in 鹿屋」

が10日、鹿屋市の高須海水浴場で開催された。NPO法人海に学ぶ体験活動協議会の主催。



浜辺でペットボトルを救助者に見立てた目標地点へ向け投てきする子どもら

この日は市内の園児、小学生などの親子40人が参加。子どもらは浜辺で紐を通す穴がある「ペットボトルレスキューキャップ」をペットボトルに装着。それに頑丈なロープを結びつけ、海難事故で落水者発見を想定し、ペッ

トボトルを投げる訓練に汗を流した。

その後、海へ移動した一行はランドセルや発泡スチロールを使った浮力実験を体験。意外な物の浮力に驚き、海の中で色々な物にしがみついていた。親子3人で参加していた三森美代さん(35)は「夏はよく海に遊びに行くので、今日学習したことを生かして、海水浴シーズンを安全に乗り切りたい」と話した。

講師を務めた同法人代表理事で鹿屋体大海洋スポーツセンター客員教授の海野義明さん(54)は「ペットボトルは大人でも浮き輪代わりに使え、レスキューに有効な道具。開発したペットボトルレスキューキャップを持ち

歩けば、いざという時に役に立つだろう。また、こういった安全教室を子どもに体験してもらったことで、いざという時にすぐ行動に移せるはず」とペットボトルのレスキュー応用を説明し、「海洋スポーツを通じた社会貢献が一番のテーマ」と話した。

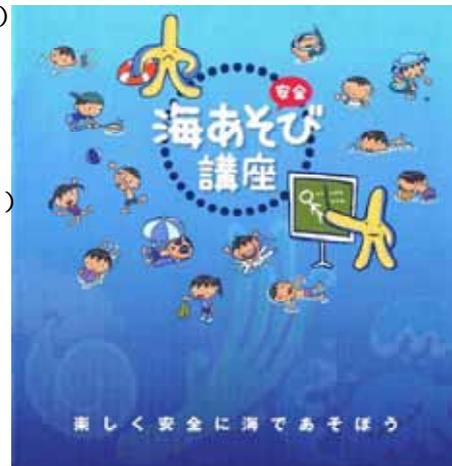
同法人は楽しく遊ぶための知識と技術を知ってもらうと、「海あそび安全講座ハンドブック」を作成し、全国で講習会を実施している。

ペットボトルレスキューキャップについての問い合わせはNPO法人海に学ぶ体験活動協議会 03・5408・8299。

2010 海あそび安全講座 in 沖縄 参加者募集

NPO法人海に学ぶ体験活動協議会では、楽しく海あそびをする為の知識と技術を知っていただく為に、海あそび安全講座ハンドブックを作成し講習会を全国で行っています。今回は北谷サンセットビーチ&公園プールで安全講座を実施します。

- 主催 NPO法人海に学ぶ体験活動協議会 <http://www.cnac.ne.jp/>
協力) 沖縄ライフセービング協会、ザ・ビーチタワー沖縄、自然探求ネットワーク沖縄
- 実施日 平成 22 年 7 月 31 日 (土曜日) 10:00 ~ 12:00 (ジュニア・ライフセービング・クラブ)
8 月 1 日 (日曜日) 10:00 ~ 12:00 (一般)
- 定員 各日 20 名 対象 お子さま、大人、親子
- 会場 北谷公園水泳プール、北谷サンセットビーチ
沖縄県中頭郡北谷町美浜 2 丁目電話：098-936-5286
- 内容 海あそびで気をつけること(砂浜、港、サンゴ礁)
海に落ちたら
誰でもできるレスキュー
気をつけたい海の生き物
楽しい海あそび



【タイムスケジュール】

- 09:30 北谷公園水泳プール入口に集合ください。
10:00 海辺の安全学習とレスキュー体験&楽しい海あそび(2時間))
12:00 ふりかえり、終了

持ち物：水着、タオル、帽子、水筒、着替え、日焼け止め

講師：海野義明(NPO法人海に学ぶ体験活動協議会代表理事)、沖縄ライフセービング協会ライフバー-

お申し込み 自然探求ネットワーク沖縄 事務局：那覇市若狭 3-8-10

お問い合わせ TEL&FAX：098-862-3492〔担当〕照屋隆治 緊急：070-5817-5975

メール：cawm3031@pdx.ne.jp



このイベントは、競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施しています

CNAC 海あそび安全教室 事業報告書

開催年月日	平成 22 年 7 月 31 日 平成 22 年 8 月 1 日	天気	7/31 晴れ時々曇り 8/ 1 晴れ時々曇り
開催地	沖縄県中頭郡北谷町美浜 2 丁目 北谷公園プール及び北谷サンセットビーチ		
開催団体名	CNAC		
共催団体名	沖縄ライフセービング協会、ザ・ビーチタワー沖縄、自然探求ネットワーク沖縄		
参加者人数	7/31 総数 15 人 (内訳 大人 6 名 小中学生 7 名 幼児 2 名) 8/ 1 総数 17 人 (内訳 大人 9 名 小中学生 6 名 幼児 2 名)		
スタッフ数	講師 3 人 運営スタッフ 2 人		
講師名	海野義明 (CNAC 代表理事) 矢貫卓博、大城和樹 (沖縄ライフセービング協会)		
参加者募集方法	沖縄ジュニアライフセービングクラブ、那覇市ボーイスカウトより声掛け、チラシ配布。北谷公園プール、ザ・ビーチタワー沖縄に置きパンフレット		
会場	北谷公園プール (屋外) 及び講習室 (屋内) 北谷サンセットビーチ (屋外)		
使用教材	冊子、紙芝居、ペットボトル、ランドセル、ポリ袋、ロープ、クーラーボックス、レスキューボード、ニッパーボード		
使用備品類	飲料タンク		
加入保険の内容	加入した保険 傷害保険と賠償保険		
事前の打ち合わせ会議の回数	4 回		
活動状況			
実施において気づいたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄総体開催に合ってしまったため、県民がほとんど応援対応に回ってしまい参加者の動員が少なく残念であった。 ・ ジュニアライフセービングクラブの子どもたちは、驚くほどの水慣れ、活発であった。クラブでない子どもへのやさしいフォローが良き指導を受けていることをうかがわせた。様々の浮力体の体験をととても興味深く体験した。 ・ 両日とも沖縄国体で親の応援があるにもかかわらず、参加したため、学習・体験ともとても意欲的であった。 ・ 保護者の指導協力が熱心で素晴らしかった。 		

安全
海あそび
講座

開催日
7/29 (水)
10:30
~
12:00

白石島 2010 親子の海あそび安全こうざ
無料：親子でご参加ください♪

岡山県笠岡市白石島ビーチ集合

楽しく安全に海であそぼう

(日本財団助成事業)

- 日 時： 2010年7月29日(水)・28日(火)も同様のプログラムが真鍋島で行われます。
10:00受付開始 10:30~12:00
- 場 所： 笠岡市白石島ビーチ (笠岡住吉港から9:10発の定期船で9:32着) 現地集合
- 内 容： 海の伝道師海野義明氏をお招きして、
楽しく安全に海であそぶためのポイントについて
実践を通して学びます。
午後は自由参加で、カヤックや海水浴をして遊ぶよ～。
- 対 象： 親子(無料) ※午後のカヤックは1000円/1人 必要です。
-28日(火)も同様のプログラムが真鍋島で行われます。

主催：特定非営利活動法人 海に学ぶ体験活動協議会(CNAC) TEL03-5408-8299

〒105-0001 東京都港区虎ノ門ビルディング4階 財団法人 港湾空間高度化環境研究センター内

共催：現地協力団体 ←お問い合わせ・お申込みはこちらまで
特定非営利活動法人 コミュニティデザインアンドマネジメントジャパン(NPO CDM JAPAN)
〒700-0816 岡山市北区富田町2丁目12-16 センチュリー富田町701号
TEL (086) 236 0904 FAX(086) 236 0905 Email: info@cdmj.or.jp (担当：うすい)

このイベントは、競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施しています

真鍋島・白石島 2010 海あそび安全こうざ 参加者募集

NPO法人海に学ぶ体験活動協議会では、楽しく海あそびをする為の知識と技術を知っていただく為に、海あそび安全講座ハンドブックを作成し講習会を全国で行っています。今回は岡山県笠岡市真鍋島・白石島で安全講座を実施します。

- 主催 NPO法人海に学ぶ体験活動協議会 <http://www.cnac.ne.jp/>
協力) 特定非営利活動法人 コミュニティデザインアンドマネジメントジャパン
〒700-0816 岡山県 岡山市北区富田町 2 丁目 12-16 センチュリー富田町 701 号
 - 実施日 2010年7月28日(火曜日) 11:00~12:30 真鍋島
2010年7月29日(水曜日) 10:30~12:00 白石島
 - 定員 20名(各回) ※真鍋島では「瀬戸内海人になる!」プログラムの一部として行います。
 - 対象 子どもまたは親子(小学生~)
 - 会場 28日-笠岡市真鍋島土生海岸 29日-笠岡市白石島ビーチ
笠岡港から定期船でいけます。(笠岡港9:10発-9:32白石/9:54真鍋着)
白石島-降りて右へ徒歩5分。真鍋島-五里五里集合。
 - 内容
 - ①海あそびで気をつけること
砂浜、岩場、港、サンゴ礁
 - ②海に落ちたら
 - ③誰でもできるレスキュー
 - ④気をつけたい海の生き物
- 【タイムスケジュール】白石島の場合(真鍋は30分遅れ)
10:00 受付開始
10:30 海あそび安全こうざ
海辺の安全学習とレスキュー体験(1.5時間)
12:00 終了 白石島-午後は自由参加でカヤックをするよ~ 別途1人1000円要
- 持ち物 水着、タオル、帽子、着替え、日焼け止め、水にぬれてもいい運動靴
 - 講師 海野義明(NPO法人オアションファミリー代表、NPO法人海に学ぶ体験活動協議会代表理事、鹿屋体育大学海洋スポーツセンター客員教授)



申 込 書 申込み〆切7月23日(金)

名前	小・中 年生	保護者氏名と続柄	希望するこうざに○ 28日 29日 真鍋島 / 白石島
生年月日	住所・電話番号・緊急連絡先(携帯)		

お申し込み&お問い合わせは以下までお願いします
CDMJAPAN (コミュニティデザインアンドマネジメントジャパン)

TEL 086-252-0904 FAX 086-236-0905

CNAC 海あそび安全教室 事業報告書

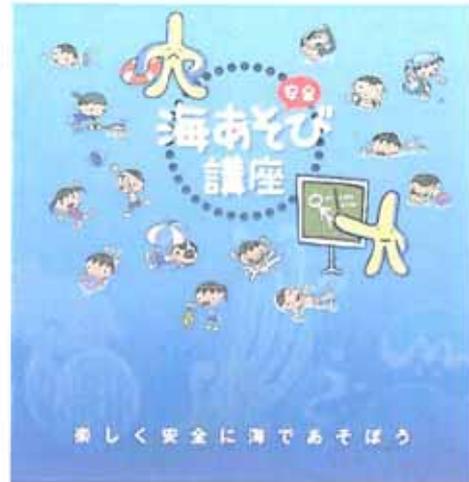
開催年月日	平成 22 年 7 月 28 日 平成 22 年 7 月 29 日	天気	曇り 晴れ
開催地	7 月 28 日：岡山県笠岡市真鍋島土生海岸 7 月 29 日：岡山県笠岡市白石島白石島海水浴場		
開催団体名	CNAC		
共催団体名	NPO 法人コミュニティデザインアンドマネジメントジャパン		
参加者人数	7/28 総数 24 人（内訳 大人 9 名 小中学生 15 名 幼児 0 名） 7/29 総数 18 人（内訳 大人 8 名 小中学生 10 名 幼児 0 名）		
スタッフ数	講師 2 人	運営スタッフ	3 人
講師名	氏名：海野義明 肩書き・資格等：CNAC 代表理事 氏名：臼井貴子 肩書き・資格等：カヌースノーケリング安全指導員		
参加者募集方法	HP、メール、自治体広報、公民館、乗船待合所		
会場	7 / 28 真鍋島潮待茶屋五里五里（屋内）、土生海岸（屋外） 7 / 29 白石島海水浴場休憩所、海浜（屋外）		
使用教材	7 / 28 安全教室用品、スノーケル用品 7 / 29 安全教室用品、シーカヤック		
使用備品類	テーブル・テント、水飲みポット		
加入保険の内容	加入した保険：傷害保険と賠償保険		
事前の打ち合わせ会議の回数	3 回		
活動状況			
実施において気づいたこと	<p>真鍋島では、島内在住 15 名中半数の 8 名の小中学生が参加し、校長先生も見学に来られ良い評価を得た。海辺の安全教育効果が島に根付くきっかけ作りとなった。また、交流事業で来島していた岡山県内の小学生も、海に興味があることが前提で参加していたため活動に意欲的であった。</p> <p>白石島は海水浴場観光客と白石島の小学生。白石島の小学生は授業でシーカヤックを経験しているので、海のガイドをしてくれた。海が好きで、レスキュー体験を飽くことなく繰り返し実行していた。</p>		

日本財団助成事業

2010 海あそび安全教室 in 京都・琴引浜 参加者募集

NPO法人海に学ぶ体験活動協議会では、楽しく海あそびをするための知識と技術を知っていただこうと、海あそび安全講座ハンドブックを作成、全国で講習会を行っています。今回は琴引浜で安全講座を実施します。

- 主催 NPO法人海に学ぶ体験活動協議会 <http://www.cnac.ne.jp/>
- 協力 網野町漁業協同組合、琴引浜の鳴り砂を守る会、株式会社JoyF、ソルジャーブルー
- 実施日 平成22年8月24日（火曜日）13:30～15:30
- 定員 40名 ●対象 小学生、親子、一般
- 会場 琴引浜海水浴場（京都府京丹後市網野町掛津琴引浜）
電話：0772-72-5511
- 内容 ①海あそびで気をつけること（砂浜、港、磯）
②海に落ちたら
③誰でもできるレスキュー
④気をつけたい海の生き物
⑤楽しい海あそび



【タイムスケジュール】

- 13:15 琴引浜鳴き砂文化館駐車場に集合
- 13:30 海辺の安全学習とレスキュー体験&楽しい海あそび
- 15:30 ふりかえり、終了

- 持ち物 水着、タオル、帽子、水筒、着替え、日焼け止め
- 講師 松尾省二（京都府漁業士会会長、琴引浜の鳴り砂を守る会事務局）
海野義明（NPO法人海に学ぶ体験活動協議会代表理事）
大浦佳代（海月 seamoon 代表・スキューバダイビングインストラクター）
- お申し込み ■ 事務局：京都府京丹後市網野町掛津 56 番地
お問い合わせ TEL&FAX：0772-72-5511【担当】松尾
緊急：090-3350-7154（松尾省二） メール：kotohiki@nakisuna.jp
- 申し込み期限 ■ 8月22日（日）



このイベントは、競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施しています

開催年月日	平成 22 年 8 月 24 日 (火)	天気	晴れ、無風、波 50cm 以下、 気温 35 度、水温 29 度
開催地	京都府京丹後市網野町掛津		
開催団体名	CNAC		
共催団体名	網野町漁業協同組合、琴引浜の鳴り砂を守る会、(株)JoyF、ソルジャーブルー		
参加者人数	総数 13人 (内訳 大人6名 小中学生7名 幼児0名)		
スタッフ数	講師 3人	運営スタッフ	(3講師兼業)人
講師名	海野義明 (CNAC) 松尾省二 (京都府漁業士会会長、琴引浜の鳴り砂を守る会事務局長) 大浦佳代 (毎月 seamoon 代表、スタダ化`ンク`インストラクター)		
参加者募集方法	地元、島津小学校案内、琴引浜鳴き砂文化館置きパンフ、ラジオ、インターネット		
会場	琴引浜鳴き砂文化館 (屋内) 琴引浜海水浴場 (屋外)		
使用教材	冊子、紙芝居、ペットボトル、ランドセル、ポリ袋、ロープ、クーラーボックス		
使用備品類	テーブル、椅子		
加入保険の内容	加入した保険：傷害保険と賠償保険		
事前の打ち合わせ会議の回数	4回		
活動状況			
実施において気づいたこと	<u>子どもの参加者</u> <ul style="list-style-type: none"> 教科書とかが入っているのに、ランドセルが浮くので驚いた ペットボトルを投げるのが楽しかった レジ袋では、うまく浮けなかった 最初はひとりで浮くことができなかったが、だんだんできるようになった 		

<p>実施において 気づいたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 網で魚を捕まえられた。これまでおねえちゃんに魚をとってもらっていたが、初めて自分で捕まえることができた（小学2年生の男の子） <p><u>大人の参加者</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で自然遊びやガイドの事業を始めている。自分はその事務局とガイドも務めている。今回この安全教室で学んだことをきちんと身につけ、来年は自分たちが講師になって、海辺の安全教室を開きたい ・ 小学校の校長先生も、見学に来てくれていた。来年は、小学校でもプール開きに合わせて、安全教室を開くという。とてもありがたいことだ。一緒にやっていきたい
--------------------------	---

海のふしぎ観察会 15 周年記念プログラム 海あそび安全講座 & ウミホタル観察会「さがそう！海のたからもの」

<開催日> 9月25(土)小雨決行 <開催場所> せんなん里海公園

<集合> 14:30 南海電鉄淡輪駅

<解散> 19:30 頃現地

<持ち物> 軽食、水筒、いらなくなったペットボトル、懐中電灯

<参加費> おとな 500 円、小中学生 200 円

<申込み> 参加者全員の 名前 ふりがな 年齢(学年) 住所 電話番号を書いて電子メールで申込み umi_nature.or.jp (を半角@にして送信)。締め切り後全員に抽選結果を連絡します

<申込期限> 9月9日必着(締切後余裕があればメール申込のみ先着順受付)

<その他> 中学生以下は保護者同伴 < > ウミホタルは 3mm くらいの小さな甲殻類で、夜になると砂の隙間から出てきてエサに群がります。手作りのワナで捕まえて、神秘的な光を観察してみましょう。また海あそびを安全に楽しむコツを楽しく学びましょう

<対象> 定員 30 名(抽選)

<問合せ> 保全協会事務局 06-6242-8720

このイベントは、競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施しています

(社団法人 大阪自然環境保全協会 HP 募集内容抜粋)

海のふしぎ観察会 2010 第 4 回 15 周年記念プログラム

海あそび安全講座 & ウミホテル観察会

2010 年 9 月 25 日 (土) in せんなん里海公園

本日のスケジュール	
14:30	淡輪駅に集合。 徒歩でせんなん里海公園へ
15:15	「海あそび安全講座」(海に学ぶ体験活動協議会と共催) 講師 古瀬浩史(株自然教育研究センター) 松本ひろこ(たじま海の学校)
17:00	「ウミホテル観察会」 講師 岩井克巳(環境教育技術研究会)
17:05	ワナを作ろう
17:20	ワナをしかけよう
17:30	海辺のさんぽ & 休憩(軽食)
18:20	ウミホテルを見よう
18:45	ウミホテル Q&A
19:05	まとめのお話
19:20	解散。淡輪駅へ出発。 気をつけてお帰りください。

社団法人 大阪自然環境保全協会 海の観察会

530-0041 大阪市北区天神橋1-9-13ハイム天神橋202

電話:06-6242-8720 FAX:06-6881-8103

URL <http://www.nature.or.jp/> メール: umi@nature.or.jp

ブログ <http://blog.livedoor.jp/umiumi06/>

開催年月日	2010年9月25日(土)15:00~16:20	天気	くもり(風あり)
開催地	大阪府泉南市 せんなん里海公園		
開催団体名	CNAC		
共催団体名	社団法人 大阪自然環境保全協会		
参加者人数	総数 20人 (内訳 大人13名 小中学生 5名 幼児 2名)		
スタッフ数	講師 2人	運営スタッフ	12人
講師名	氏名 肩書き・資格等 古瀬 浩史(株)自然教育研究センター 取締役) 松本 ひろこ(NPO法人たじま海の学校 副代表)		
参加者募集方法	社団法人 大阪自然環境保全協会 広報誌およびホームページ上に掲載		
会場	せんなん里海公園 あずまや・海岸		
使用教材	海あそび安全講座小冊子(子供16P版、親24P版) 海あそび安全講座紙芝居(パウチ)		
使用備品類	ペットボトル、レスキューキャップ、ロープ、ライフジャケット、発砲クーラーボックス、釣竿、ホース(的として)、ブルーシート(共催者所有物)		
加入保険の内容	傷害保険、ボランティア保険		
事前の打ち合わせ会議の回数	対面3回 + メール・電話調整 ・古瀬講師中心に、共催者、講師、事務局間でメール、電話にて打合せ ・9/24PM 古瀬講師、鹿川事務局員で現場視察 ・9/24PM 共催者、講師、事務局にて打合せ ・9/25AM 講師、事務局にて、講座内容最終打合せ		
活動状況			

<p>実施において 気づいたこと</p>	<p>【古瀬浩史講師】</p> <p>■時間は長いか・・・？</p> <p>今回のように、観察会等に相乗りする場合、参加者の関心は本来テーマ(今回ならウミホタル)にあります。</p> <p>ですので、90分の安全プログラムは長いように思いました。</p> <p>CNAC サイドの普及上の観点としては長いほうがいいのですが、行事の計画では参加者の関心や気持ちに沿わせることが重要です。その意味で、相乗り講習の場合の時間は再検討がいるように思いました。</p> <p>■地域スタッフで行なわれるように</p> <p>CNAC の理事とか事務局の人が、時々地方に出かけて行って交流するのも悪くないなと思いましたが、やはりいろいろな意味(コストとか)で課題もあるので、近い将来にあのような講習会が地域の CNAC メンバーでどんどん行なわれるようになるのが好ましいと思いました。</p> <p>■着衣泳の普及</p> <p>講習に使われている教材や講習会のプログラムは CNAC オリジナルであるものの、CNAC の安全講習のコンテンツのほとんどは着衣泳研究会の知見がベースにあります。</p> <p>したがって着衣泳研究会との交流や相互理解が、今後一層重要であるように感じました。</p> <p>【松本ひろこ講師】</p> <p>■パネル</p> <p>A3 版で絵だけでいいので、磯の絵と防波堤の絵とサンゴ礁の絵と砂浜の絵だけ超拡大にしたのがあって良いと思います。できれば、その裏に本の当該ページをコピーしたのをつけて一緒にラミネートしてほしいです。そうしたら、あの本を使い慣れていない指導者も紙芝居だけ見て判断できると思います。</p> <p>【事務局】</p> <p>■担当者の明確化</p> <p>会場等の各種手配、また当日までの準備やその指示・確認は誰が行うのが明確になっておらず、直前になって対応することになりました。</p> <p>全体責任者、実務担当者等、役割分担を早い段階で明確にしておく必要があると思いました。また、全体責任者は、基本的にメイン講師が担う等、開催におけるある程度の指針があっても良いのではないかと感じました。</p>
--------------------------	---



CNAC親子海遊び安全講座 in深江

海辺の安全教室&カヌー体験

場所/二丈交流体験広場農業研修施設/糸島市深江海岸

10月24日（日） 8:30～15:00

海で遊ぶのは楽しいけれど…危険もいっぱい！
海で遊ぶ時に気をつけないといけないことを
学んだり、実際に海の生き物を探したり、ス
ノーケリングやカヌー体験などをして海を満
喫する教室を開催します。子どもさんや親子
での参加お待ちしております。



もし、おぼれてしまいそうになったら・・・
お友達がおぼれていたら・・・どうする？

ロープレスキュー体験！



参加費無料

- 参加募集人数
20名（先着順）
- 参加対象者
大人・子ども
（カヌー体験は小学校3年生から）
- 申し込み先
NPO法人西日本環境ネットワーク
福岡市西区姪の浜3-39-4-808
TEL 092-885-0737
（平日9:00～16:00）
FAX 092-403-5521
MAIL econet@f4.dion.ne.jp
住所・氏名・年齢・電話番号を
上記お申込み先へご連絡ください。

- プログラム内容
- 8:30 農業体験
- 9:00 集合・受付・着替え
- 9:30 オリエン・「海の楽しさと危険性」
- 10:00 危険探しと対策の実習
- 10:30 助けたり・助けられたり実習
- 11:45 昼食（各自持参）
- 12:45 海の遊び方
カヌー体験・海の生きもの探検
（スノーケリングも活用）
- 15:00 終了



海の生きもの発見！！

持ってくる物

- ぬれてもいい服装
- ぬらしてもいいクツ
（ソウリはだめ！古い
スニーカーでもいいよ）
- 水着
- タオルや着替え
- 日差しの防げるボウシ
- 昼食・水筒など



このイベントは賛助の交付金による
日本財団の助成金を受けて実施します。

*海の中に入ります。体調には十分注意してください。
*皆さんに傷害保険をかけます。ケガなどをした場合は係員まで言ってください。
*見学だけの参加でも結構です。

主催 NPO法人海に学ぶ体験活動協議会・共催 NPO法人西日本環境ネットワーク

事業名	海あそび安全講座 深江「海辺の安全教室&カヌー体験」
事業趣旨	海の遊び・活動で海に親しむために必要な、安全に関する知識・技術を身につけてもらう
主催者	NPO法人 海に学ぶ体験活動協議会 CNAC
共催者	NPO法人西日本環境ネットワーク
対象	子ども 6名(10歳以上・親子1組)・大人14名(内指導者10名)
参加人数	20名
日程	2010年10月31日9時～10月31日16時(最終終了時間17時予定)
会場名	深江(二丈交流体験広場農業研修施設・深江海岸)
場所	福岡県 深江市 二丈町
連絡先	TEL 092-885-0737 FAX 092-403-5521 メールアドレス econet@f4.dion.ne.jp
実施会場 までの交通	最寄の駅 JR 筑前深江駅(行)・JR 筑前前原駅(帰) 交通機関 福岡空港駅から地下鉄線、JR ・ タクシー
講師	CNAC派遣 ・ 団体内 ・ 主催者手配
講師氏名 有資格名 事務局	長谷川孝一 CONE・CNAC・セイフティ アウトドア安全委員会委員 上岡洋一 鎌倉ライフセービングクラブ/ライフセーバー(材木座監視長) 小林遼太 NPO地球の楽校事務局・環境省エコインストラクター
告知方法・ 期間	チラシとHPにより募集告知。 10月1日～
運営体制	運営スタッフ人員 3名(現地講師は、鎌倉ライフセーバに変更) 実行責任者氏名 長谷川孝一 事務局担当氏名 小林遼太 運営責任者氏名 村崎詩園(NPO法人西日本環境ネットワーク代表)
活動状況	
保険会社名 と保険種類	傷害保険・賠償責任保険 CONE保険(NPO地球の楽校より請求書)
作成者氏名	長谷川孝一

5 . 事業成果

5.1 事業成果

海辺の体験活動を推進するためには安全対策は不可欠であり、そのための安全講習会を全国で実施した。以下に今年度の事業成果を述べる。

1)安全小冊子の印刷・配布

- ・ 子供向け「海あそび安全講座」 10,000部を印刷・配布した。
- ・ 指導者向け「親子海遊び安全講座」 3,000部を印刷・関係団体に配布した。

安全小冊子は、海辺で体験活動を行っている団体他、校内のプールにて溺者の対処法を学ぶ小学校等に配布した。また、配布とともに小冊子の活用状況についてアンケートを行った（アンケートの依頼例とアンケート回答結果の一覧は資料編に示す）。

小冊子を使用した団体からは、小冊子を活用することにより、体験活動を行うエリア、例えば砂浜、岩場等において注意が必要な個所を事前に把握できること（危険予知）また、緊急時の対処方法（もしもの時のセルフディフェンス、だれにでもできるレスキュー）についてもイラストを通して学ぶことができ、実技指導前の安全対策講習に大変効果的という意見を多数得た。昨年度の同様のアンケートでは、小冊子中の漢字にルビがあると小学校低学年でも理解が早いという指摘があったため、本年は子供向け小冊子を総ルビにしたことも高評価の一因と考える。

小冊子ではイラストを多用し、低学年でも内容が理解しやすい。また、イラストでは海辺の活動における「楽しいこと」と「危険なこと」を並列で描いたことで、子どもたちにはゲーム感覚でリスクマネジメントできる効果があると考えられる。

小冊子の配布は海辺の活動における安全対策の普及・啓発に一定の効果を得たと考える。

2)安全講習会の開催

- ・ 安全講習会に先立ち、「指導者向け講習会（1箇所）」を開催し、指導者の統一的な指導法策定を行った。
- ・ 開催要望に基づく全国7箇所で「安全講習会」開催し、安全について教育・啓発した。

指導者養成講座は、海あそび安全講座を運営できる指導者の養成を目的として実施した。

講座では、海あそび安全講座マニュアル(案)を用いて、安全講座を実施するねらい、意義の再確認、イベントの企画・準備・事故発生時の対応の再確認、イベント当日の運営・評価等について、座学・実技を交えて討議し、指導者の統一的な指導法を検討した。

全国7箇所で行った安全講習会では、地元のNPO等と共同でき、スムーズなイベント開催となった。

参加者には前述の小冊子を用いて海辺の危険箇所などを説明した後、海難事故での落水者を想定し、溺れた人にペットボトルを投げる練習を行った。レスキュー体験をした参加者は、ペットボトルの他、クーラーボックス、ランドセル、ビニール袋が浮輪代わりになることを確かめた。

安全講習会の参加者は、小冊子により海辺の注意が必要な個所を把握し（危険予知）、また、緊急時の対処方法（もしもの時のセルフディフェンス、だれにでもできるレスキュー）を体験を通じて学ぶことができた。

安全講習会により、開催地域に海辺の活動における安全対策の教育と普及ができたと考える。

3)海あそび安全講座・運営マニュアルの作成

・安全講座指導者向けの内容とし、指導者向け講習及び団体の地元自主開催時の指針として活用されることを目的として作成した。

「海あそび安全講座運営マニュアル(案)」を、前述の指導者養成講座で用いて実用性を検証し、適宜改良を加えた。修正した「海あそび安全講座運営マニュアル」では、安全講座を実施するねらい、意義、イベントの企画から運営、イベント終了・評価に至るまでの各ステップにおける準備事項や留意点が整理でき、指導者向け講習及び団体の地元自主開催時の指針として実用性の高いものとなった。

今後、安全講座を開催していくにあたり、指導者の統一的な指導法の策定を行うことができたと考ええる。

資料編

- ・ 安全講座小冊子・利用アンケート依頼例
- ・ 安全講座小冊子・利用アンケート回答結果一覧
- ・ 安全講座小冊子・利用アンケート
 - （ 氏名・連絡先等の個人情報を含むため、日本公益図書館への登録データからは除外する .）

別添資料

- ・ 小冊子「海あそび安全講座」(16 頁版)
- ・ 小冊子「親子海遊び安全講座」(24 頁版)
- ・ 海あそび安全講座運営マニュアル
(平成 23 年 3 月、NPO 法人海に学ぶ体験活動協議会)